



例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 井原 俊彦
幹事 香川 基吉

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail:hwrc@godorc.gr.jp
広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ Reach Within to Embrace Humanity
「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」

本年度会長テーマ
「ユーモアでロータリーに
もっともっと笑顔を」

「ロータリー親睦活動月間」

2012年 6 月 21 日 第2054回例会

◆ 会長時間 ◆

井原会長



ロータリー活動は

人生を1/4降りる感じで
皆さんこんにちは。名残惜
しいのですが私の会長時間も
あと2回となってしまいました。
やれやれ井原の趣味的な

スピーチをもう聞かなくて済むと喜んでる人も
いるかもしれませんが、早過ぎます。今日はとど
めの長話、哲学の話です。

ロータリーでは“超我の奉仕”と、“最もよく奉
仕する者、最も多く報われる”の二つの公式標語
があります。親睦と友愛から職業奉仕が生まれ、
社会への奉仕へと拡大し、それが広がって世界平
和を目指す国際奉仕となり、次の世代を育てよう
という新世代奉仕が加わりました。

これらを貫く思想は「奉仕の理想」であり「奉
仕の哲学」であります。ロータリーの奉仕は実践
可能な哲学であるという1921年のアーサー・F・
シェルドンの“ロータリー哲学”というスピーチ
を読んできましたが、どうも理解しきれません。
そういうところへ哲学者 中島義道先生の“人生
を半分（1/2）降りる、哲学的生き方のすすめ”
という本をたまたま見つけて読み入ってしまい、
悩むこととなりました。

紀元後20年頃から65年頃迄ローマ帝国の政治
家、哲学者として活躍したルキウス・セネカは、
仕えていた皇帝ネロに自殺を命ぜられる直前まで
公職をやめさせてもらえなかったのですが、“い
かに生きるかを学ぶには全生涯を要す”とか“我
らは常に命の短きを嘆じながら、あたかも命の尽
くる時期なきごとくふるまう”など多くの有名な
哲学的言葉を述べ、欧米の哲学に大きな影響を残
しています。

中島先生の説明によると世間的にある程度の事
を成し遂げた後に、あるいは自分の能力と仕事を
見限った時に、公的なことや義務的なことから逃
げて「自分のために使う時間」を確保しなさいと
言うので、大抵の人はそうだねと賛成しながら反対
の事をしてそのまま死んでゆくのだそうです。既
に2000年前に哲学者セネカは、時間の大切さを強
調していました。自分の能力のなさを悟ったけれ
ども、まだ体力気力知力が残っている60才頃にな
ったら人生の半分(1/2)を降りて、たった一度だ
け与えられた生命を個人的な些細な事に使って、
まもなくやってくる“死”について考え“人生と
は何だろう”などと探究したらいかがですか、と
いうわけです。

19世紀後半のドイツの哲学者ニーチェは、1日
の2/3を自分の為にとっていない者は奴隷である
と云っています。ああ自分は診療で患者さん達に

エネルギーを吸い取られぐったりして帰っており、おまけに今年度はロータリーに関わることで多くの時間を取られているから奴隷のようなものだ。いつまでも元気でおれないのに、70才になるというのにこんなことをしては駄目だ。早く仕事も止めて自分の時間を確保しないといけないと考えることがよくあります。殆どの人が一瞬こうした疑問に取りつかれ、しかしすぐにそんな青臭い馬鹿げた考えなどと払いのけているのではないでしょう。

ここで我に戻りますと、こういった半隠遁の哲学的生き方も魅力的ですが、降りるのは1/2ではなく1/4にしてあとの1/4をロータリーの奉仕に向けるとすれば建設的で有意義な人生を送れるのではないかと考えを変えました。皆さんはどう思われますか？

ありがとうございました。

村上 昇会員 退会について

高橋 正会員 退会挨拶

● 委員会報告

出席報告 鮫島副委員長

本日 (6月21日・木曜日)			
会員数	82名	出席者	71名
欠席者	11名	ご来客	2名
ご来賓	0名	ゲスト	1名
		計	74名
前々回(6月7日・木曜日)			
		出席率	100%



※ 次年度古屋幹事

次年度ガバナー公式訪問フォーラムのご案内

🌸 創業月おめでとうございます。

(5名)

- 長谷川君 ㈱ナガ・ツキ
- 岡野君 岡重㈱
- 土井君 ㈱SANYO KOUKOKU
- 村上(智)君 ㈱フジセイ
- 香川(浩)君 ㈱ヒロウエル

🏠 ご入会記念月おめでとうございます。

(3名)

- 渋谷君 (H 1年) 垂井君 (H 5年)
- 木本君 (H17年)

● スマイルボックス SAA 柴田委員

😊 退会挨拶 高橋君 (自主申告・大枚)

16年間、有難うございました。ご迷惑をおかけする事もありましたが楽しく過ごす事が出来ました。これからも西RCのご発展をお祈りします。

😊 幸せになってくれよ (涙の父)

森信君 (自主申告・大枚)

去る6月16日に、かねて婚約の報告をした長女が無事ゴールインいたしました。それぞれの友人達と親族だけの内輪の宴でしたが、式場に入場の際はさすがに、こみ上げるものがありました。子供達のフェイスブックには「父号泣」と書かれておりました。二人の新居での生活は7月から、新婚旅行は8月となかなか嫁いで行ったと言う実感がわきませんが、幸せになって欲しいと祈るこの頃です。娘の前職場でお世話になりました箕さん、新郎の会社の顧問税理士、安部さんには、ご出席頂き有難うございました。

😊 シングルへの道、優勝報告

原君 (自主申告・トリプル)

去る6月10日に行われた、芸南CC月例Bクラスで優勝させて頂きました。前日の紫友会では97と言うスコアでしたが、当日は当クラブの武田さん、斉藤さん、梶本さんと言う素晴らしい同伴者と、その声援にも恵まれ、前日から19打縮める78と言うスコアを出す事が出来ました。シングルプレーヤーを目指してさらに精進します。

😊 廃棄物質を再利用し社会貢献

中村君 (ダブル)

中村君が理事長をしておられる広島食品工業団地協同組合では、排水処理場から発生するパイオガスを蒸気供給や発電に利用しておられます。この取り組みについて、去る19日(火)のNHK「お好みワイド広島」で放送されました。中村君も取材に応じられ、しっかりとテレビに映っておられました。国営放送と言う事でダブルでご出宝頂きました。

😊 西陶会作品展示

去る5月27日に作成。窯入れ後、待つ事数日。ご覧の通り素晴らしい作品が出来上がりました。ご夫婦で出展の沖君はダブル、諏訪(奥様)君、三浦君、武田君、前橋君には、それぞれご出宝を頂きました。

◆委員長退任挨拶◆



職業分類委員会
村上 智亮 委員長

職業分類委員会の村上でございます。

委員会の皆様、会員の皆様のご協力によりこの一年間活動出来ましたこと心から感謝を申し上げます。

今年度は会員組織部門 川西理事のもと四委員会が共同して「全会員による会員増強活動」を展開していくことを目標として活動いたしました。

職業分類委員会としての実施事業は

- 3名の新会員の職業分類の認定
- 1名の職業分類の変更
- 退会者及び未充填職業分類一覧表の作成

を行いました。

簡単ではございますが、会員の皆様のご協力に感謝し退任の挨拶とさせていただきます。



会員選考委員会
笹野 正明 委員長

今年度選考委員会は3名構成でしたが、途中で2名になりました。

会員組織部門の各委員会との合同ミーティングを行いながら、今年度の方針について協議しました。

今年度は新会員候補者3名の選考を行い、選考結果を理事会に報告答申しました。

新会員氏名

武田 弘行君 2012年1月19日入会

片山 恵太君 2012年1月19日入会

井下 健君 2012年4月 5日入会

皆様の御協力に心から感謝申し上げます。

以上



会員増強委員会
濱井 順三 委員長

近年、厳しい社会情勢の中、各クラブ共会員増強は極めて困難な状況となっている。

当クラブでは今年度は、会員組織委員会の中の4委員会が共同して、より連携を深め会員全員で取組む増強活動に努めてきた。

具体的には、クラブ独自のドラフト方式（仮称）による増強活動を展開してきた。初年度としては活発な動きは一部の会員に留まったものの6名が入会し一定の成果は得られた。然しながら年度末に各企業の諸事情によって新たに退会者が集中し今年度の最終結果は入会6名、退会者計7名、差引き1名減の総会員数79名となる厳しい結果となった。

女性会員については新しい入会基準、要件等を定め人材の発掘に努めたが実現は見なかった。

職業分類での未充填項目の観点から職業分類委員会（村上智亮委員長）で纏め作成した「当クラブ退会会員一覧表」によるとその総数は150を越す多きになっている。

その後任が未充填になっている所も多く、該当先への一層の取組み強化が必要であることの課題が改めて浮きぼりにされた。大きな問題提起として引続き全員による取り組みの必要性和併せて次年度に申し送ることとしたい。

新会員加入では一定の成果、退会による減員では極めて厳しい結果の両面が顕れた年度となったが年間を通しての全会員の多大なご支援、ご協力には感謝する。



ロータリー情報委員会
森信 秀樹 委員長

ロータリー情報委員会として、広島西ロータリークラブの会員及び新会員に対して、ロータリーの歴史と基本理念、活動内容や会員としての責務などの情報を提供し、会員等の知識の習得と資質の向上、これからの活動への指針となるよう支援を行いました。

第二例会ではロータリーの友誌からの最新の情報を、会員の手元にある雑誌をもとに解説し、第三例会ではその補足や別の情報をホームページから調べて紹介しました。

また、新会員へのロータリー情報の解説書に決議23-34や、職業宣言からロータリーの行動規範への変更、RIの戦略計画等を追加するとともに全体の表現を見直しました。これら活動を通じて私自身の知識再習得に大変役に立ちました。



会報雑誌・広報委員会
鈴木 義尚 委員長

まずは会員皆様のご当委員会事業へのご支援、ご協力に心より深く感謝申し上げます。
本年度会長テーマ「ユーモアでロータリーにもっともっと笑顔を」に則り当クラブの活動を的確に反映した会報作りを目指して参りました。
微力ながら、ロータリークラブ活動への理解、啓蒙に資する広報の推進を図ることができたと思えます。しかし、広報誌のIT化については、進歩できなかったことは残念に思います。

広報においては、諏訪副委員長の頑張りや、各事業、催しに則したウェブサイトの更新が軌道に乗ってきたことは、嬉しく思っております。引き続き更新し広報に役立っていければ幸いです。

一年間、誠に有難うございました。



プログラム・出席委員会
梅田 克弥 委員長

委員会の皆様、会員の皆様のご協力のお陰でプログラムも来週の理事会メンバー退任挨拶だけとなりました。一年間をなんとか終了することができそうです。又特に講師を御紹介下さいました会員の方々には心より感謝申し上げます。私も卓話をしていただいた、講師の方との出会いで多くのことを学び、また楽しい思い出もさせていただきました。出席も高い出席率で順調に推移しました。本当に一年間有難う御座いました。



親睦活動委員会
岡田 有博 委員長

当委員会は会員相互の繋がりを深め、笑顔に溢れたロータリー活動の一助となればと、例会時の通常活動に加え、新会員歓迎会員懇親会、忘年会会員家族懇親会、創立記念夜間例会、日帰り家族会を開催しました。

優秀な委員会メンバーに恵まれ無事1年間の活動を終えることができました。皆様のご協力本当にありがとうございました。



新世代・インターアクト委員会
荒川 慎吾 委員長

新世代・インターアクト委員会は、瀬尾理事の下 村上副委員長、土井、堀江、吉田委員のメンバーで1年間委員会活動を行って参りました。当初インターアクトクラブ生徒の活動について、高校生のクラブ活動はスポーツ中心で勝つことを目標に汗を流し頑張ることとっており、奉仕、ボランティア活動を行うインターアクトの生徒に少し違和感を感じておりました。しかし東北大震災を経験し日本中がボランティア、助け合いの心を大事にする多くの若者の姿を見る事が出来、クラブ活動でボランティアを行っているインターアクトクラブの生徒に対し応援する立場に変わってきました。インターアクトクラブの生徒の皆さんと1年間インターアクトクラブの活動を勉強できた事は貴重な体験になったと思えます。活動事業としてはスキーツアーに替る研修として福島原発事故の年に島根原子力発電所見学を行い、多数のインターアクトクラブの生徒の皆様、広島西ロータリー会員の皆様に参加していただく事ができ参加者皆様に日本の将来のエネルギーについて問題提議する事が出来たと思えます。委員会のメンバー皆様、広島西ロータリークラブの皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。



地域・環境委員会
浜田 広 委員長

子供の登校・下校時の見守り活動に使用する西ロータリーのロゴ入り緑のジャンパーを100着ずつ西区と佐伯区に配布させて頂きました。両地域の方々はかなり有効に活用して頂いている様子は広島市教育委員会の伊藤氏の卓話でご理解頂けたかと思えます。昨年中国電力島根原子力発電所の見学を企画しました、現在は稼動していませんが地域へ与える影響はどのようなものであるのかを多方面から検討する必要があると思いました。



国際交流委員会
中岡 弘夫 委員長

1. 2011年11月13日 第18回国際親善宮島ウォーキング。登山コース、観光コースの2コースで50数名の参加
2. 2012年2月2日 パネルディスカッション形式での国際交流委員会フォーラム、今年度国際親善宮島ウォーキング参加の米山留学生金さん 留学生李さんの2名を招待
3. フィリピン第3820地区 Sta. Rosa Centro クラブとのマッチング・グラントによる支援（フィリピンの妊婦と出産ケアの改善）
4. バングラデシュ「鈴峯校」への文具等の支援を実施いたしました。

皆様のご支援、アドバイス、ご協力いただきありがとうございました。



姉妹クラブ友好委員会
上田 欣一 委員長

当委員会は加藤理事のもと副委員長に香川さん、委員に長谷川さん、木村さん、梶川さん、小橋さんをメンバーとして事業をすすめてまいりました。

当委員会のメイン事業であります青少年短期ホームステイを8月21日から8月27日の7日間、台南RCから子弟の受け入れを行いました。

台南RCからは、蔡君、李君、黄君の3名の高校生が来日されそれぞれ、原会員、安部会員、柴田会員にホストファミリーをお引き受けいただきました。家族全員で受け入れにご協力を頂き、大変お世話になりました。この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。有難う御座いました。

夏休みという事もありまして、子供たち一緒に過ごす時間も長く子供同士の交流もしっかり図れたようで、大変有意義な事業が行えたと思っております。しかし大変残念ではあります。当事業は今回で一旦中止という事で、お互い少し時間をおいて、もう一度交換事業を見直し、しましようという事で、双方了解のもと改めて再開しようという事になりましたが、これからも引き続き姉妹クラブ友好委員会にご協力と、ご理解を宜しくお願い致します。本年度一年間ご支援、ご協力有難

う御座いました。



ロータリー財団委員会
小田 清和 委員長

今年度初めて、ロータリー財団委員会の委員長を務めさせていただきましたが、右も左もわからない中で、小島副委員長と日域委員の助けを得て、委員会事業を進めることができ、お礼申し上げます。また、会員の皆様は、私より多くのことを理解されておられると思いますが、財団委員会の活動にご協力いただき、多額の寄付をいただき感謝申し上げる次第です。更に古屋理事を始め財団部門の皆様や、問い合わせには、素早い対応をしていただける事務局の楠原さんに御礼申し上げます。

さて、財団への寄付は、年次寄付の合計が1万1505ドル、ベネファクター積み立てが1800ドル、ポリオ・プラスが1230ドルと言うことで、ほぼ目標を達成し、所期の目的を達することができた事と、マッチンググラントのお手伝いができ、地区補助金の交付を受けることができたことを、報告させていただきます。又、2013年度7月からスタートする未来の夢計画の内容についての報告もさせていただきます。新地区補助金の利用事業を具体的に検討いただける材料を提供できたのではないかと考えております。

勉強の機会をいただけたことに感謝し、次年度もできるだけの事をするということを誓って、退任の挨拶にさせていただきます。



米山奨学委員会
古本 竜一 委員長

本年度は米山記念奨学会より、年800名の奨学生支援の維持に向けて一人当たり目標額16,000円にて協力依頼がございました。当米山奨学委員会でも10月に強化プログラムを実施し、奨学会へのご理解ご協力をお願い致しました。皆様には例年と変わらず多大なるご厚情を賜り、お陰様をもちまして目標額を大きく上回る、普通寄付と特別寄付の合計で1,818,000円を達成致しました。心よりお礼申し上げます。今後とも奨学会へのお力添えを何卒宜しくお願い致します。